大幸薬品

News Release

2024年 10 月 16 日

全国の 16 歳から 69 歳までの男女 2,350 名に大調査！

日ごろから“お腹トラブル※”に悩む人は約 6 割

～突然の便意で困った経験のある人は3人に2人～

都道府県別では首都圏で多い傾向で、1位は東京都で86%の人が経験あり！
なかには「おならかと思ったら下痢で出てしまった」という失敗談も・・・

120 年以上続くロングセラーブランド『正露丸』を販売する大幸薬品株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：柴田高、以下、大幸薬品）は、全国の 16 歳～69 歳の男女 2,350 名を対象に「お腹トラブルに関する調査」を実施いたしました。

＜調査トピックス＞

1. 日ごろから「お腹のトラブルに悩む人」は全国で約 6 割。 ※「お腹トラブル」とは、下痢・軟便を意味します。

2. 「突然の便意で困った」経験のある人は 7 割以上。全国で 3 人に 2 人は「突然の便意で困った」経験あり。
都道府県別にみると、最も多かったのは「東京都」。「東京都」、「千葉県」、「埼玉県」、「神奈川県」の首都圏 1 都 3 県の平均は、全国平均を 10%近く上回る結果に。また、1 番困った経験が“少ない”のは「和歌山県」、「熊本県」であった。

3. 下痢の対処のため普段から心がけていることは、1位「体を冷やさないようにする」、2 位「規則正しい生活習慣をする」、3 位「トイレの位置を把握しておく」。1 位「体を冷やさないようにする」を地域別にみると、中部・近畿地方が最も多かった。

4. 下痢に最もなりたくない場面 1 位は「長距離の移動中」。2 位は「しばらくトイレがない道路を運転している時」、3 位「渋滞中」と、移動中に関する項目が上位を独占。特に 1 位「長距離の移動中」を都道府県別にみると、最も多いのは「神奈川県」。1 都 3 県の平均は、突然の便意で困った経験に引き続き、全国平均を上回った。

5. 普段から「下痢止め」を持ち歩いている人は約 2 割。1 都 3 県は、全国平均を上回ったが、それでも 26.5%と、3 割以下だった。
また、6 割以上は「下痢止め」に、主に「即効性」、「低価格」、「飲みやすさ」、「持ち運びやすさ」を求めている。

【まとめ】
日ごろからお腹のトラブルに悩む人は全国で約 6 割。特に移動中に突然の便意に困る人が多くいたが、対処方法として「下痢止め」を持ち歩いている人は約 2 割にとどまった。
また、1 都 3 県は、突然の便意に困ったことのある人が多く、特に交通機関の乗車中に不便を感じているため、「下痢止め」を持ち歩く人の割合も高かった。ただ、高いと言っても3割を超えておらず、下痢に困る人は多くいるにも関わらず、「下痢止め」を持ち歩くという対処方法は、まだまだ浸透していないことがわかった。
なお、「下痢止め」に求められることは、主に「即効性」、「低価格」、「飲みやすさ」、「持ち運びやすさ」であった。

大幸薬品株式会社
〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル16階
http://www.seirogan.co.jp

大幸薬品

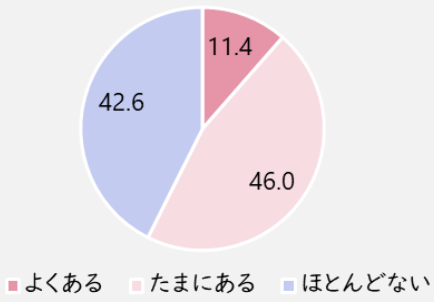
News Release

1. 日ごろからお腹のトラブルに悩む人は全国で約 6 割。

日ごろからお腹のトラブル（下痢・軟便）に悩まされていますか、という質問に対し**（図1）**、「よくある（11.4%）」、「たまにある（46.0%）」と、合わせて 57.4%の人が“ある”と回答しました。

また、下痢で困ったエピソードや・嫌な思い出について聞いたところ、「おならかと思ったら下痢で出てしまった」や「家の鍵が開いてなくて庭に穴を掘ってた」などのおもしろエピソードや、トイレを探し回ったり、大事な時に限って下痢になり力が発揮できなかったりと、さまざまな声が集まりました。

図1 ［下痢・軟便］日ごろから下痢・便秘・腹痛などのお腹トラブルに悩まされていますか。N=2350



～下痢で困ったエピソード・嫌な思い出（自由回答）～ ※一部紹介

・「おならかと思ったら下痢で出てしまったことがある。」（千葉県、37 歳女性）
・「来客時に静かな家で、トイレの音が響いてしまった。」（山梨県、59 歳女性）
・「家の鍵が開いてなくて庭に穴を掘ってた。」（広島県、17 歳女性）
・「交通渋滞中、急な下痢で車でトイレを探すが、なかなか見つからず、近くの家（知らない人）を貸してもらった。」（栃木県、64 歳男性）
・「大事な資格試験中に下痢になり途中退席することになった。」（長野県、52 歳男性）
・「デート中に一度だけどうしようもないほどお腹が痛くなって嘘をついて早めに帰った。」（京都府、50 歳女性）

2. 「突然の便意で困った」経験のある人は全体の 7 割以上。最も多かった都道府県は「東京都」。

突然の便意に関する質問では**（図2）**、合計 72.2%の人が困ったことが“ある”と回答しました。

都道府県別にみると**（図3）**、同率が多い中、1 位は単独で「東京都」という結果でした。また、地域別にみると、首都圏 1 都 3 県の平均は 81.5%と、平均より 10%近く高く、「東京都」、「千葉県」、「埼玉県」、「神奈川県」の 1 都 3 県は、他の地域よりも突然の便意に困ったことが“ある”人が多い傾向があるとわかりました。また反対に、1 番困った経験が少ないといえるのは、「和歌山県」、「熊本県」でした。

図2 これまでに突然の便意で困ったことのある状況はどれですか。N=2350

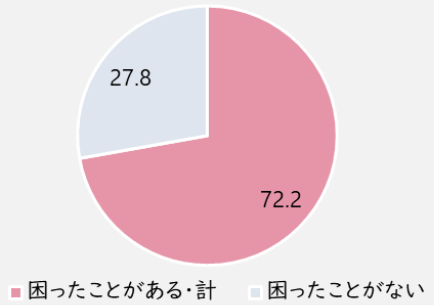


図3 これまでに突然の便意で困ったことがある／計

	全体	72.2	12位	栃木県	78.0	26位	福井県	70.0	40位	岐阜県	64.0
1位	東京都	86.0	12位	神奈川県	78.0	26位	山梨県	70.0	40位	島根県	64.0
2位	岩手県	82.0	12位	香川県	78.0	26位	静岡県	70.0	42位	茨城県	62.0
2位	千葉県	82.0	15位	新潟県	76.0	26位	愛知県	70.0	42位	岡山県	62.0
2位	滋賀県	82.0	15位	大阪府	76.0	26位	山口県	70.0	42位	高知県	62.0
2位	広島県	82.0	17位	長崎県	74.0	26位	鹿児島県	70.0	42位	福岡県	62.0
2位	佐賀県	82.0	17位	宮崎県	74.0	26位	沖縄県	70.0	46位	和歌山県	60.0
7位	山形県	80.0	19位	北海道	72.0	33位	青森県	68.0	46位	熊本県	60.0
7位	埼玉県	80.0	19位	宮城県	72.0	33位	秋田県	68.0			
7位	長野県	80.0	19位	三重県	72.0	33位	群馬県	68.0			
7位	鳥取県	80.0	19位	京都府	72.0	33位	富山県	68.0			
7位	徳島県	80.0	19位	兵庫県	72.0	33位	石川県	68.0			
			19位	奈良県	72.0	33位	大分県	68.0			
			19位	愛媛県	72.0	39位	福島県	66.0			

大幸薬品株式会社
〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル16階
http://www.seirogan.co.jp

大幸薬品

なお、突然の便意で困ったことのある人の最も多いシチュエーションは(図4)、「トイレが近くにない場所(外等)にいるとき(39.0%)」でした。2 位から 4 位までの結果から(図4)、“移動時”に多いことがわかりました。特に、「電車などの交通機関に乗車中(18.5%)」を選択した人を都道府県別にみると(図5-a)、トップ 5 に「東京都」・「埼玉県」・「神奈川県」・「千葉県」の、1 都 3 県がすべて含まれています。1 都 3 県の平均は 36.5%(図5-b)、で、全体平均の 18.5%を大きく上回る結果となりました。

図4　これまでに突然の便意で困ったことのある状況はどれですか。

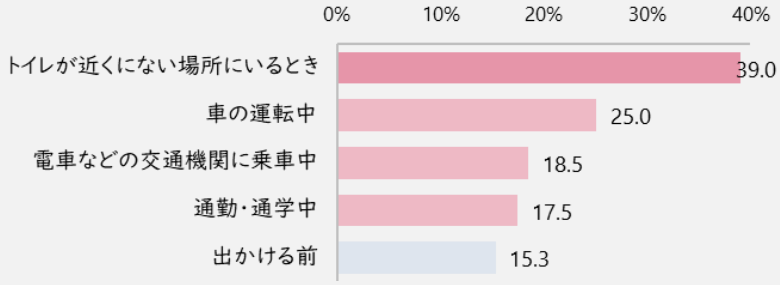


図5　困ったタイミング
「交通機関に乗車中」

a. 全国ランキング

1位	東京都	44.0
2位	埼玉県	42.0
3位	滋賀県	34.0
4位	神奈川県	32.0
5位	千葉県	28.0
5位	兵庫県	28.0

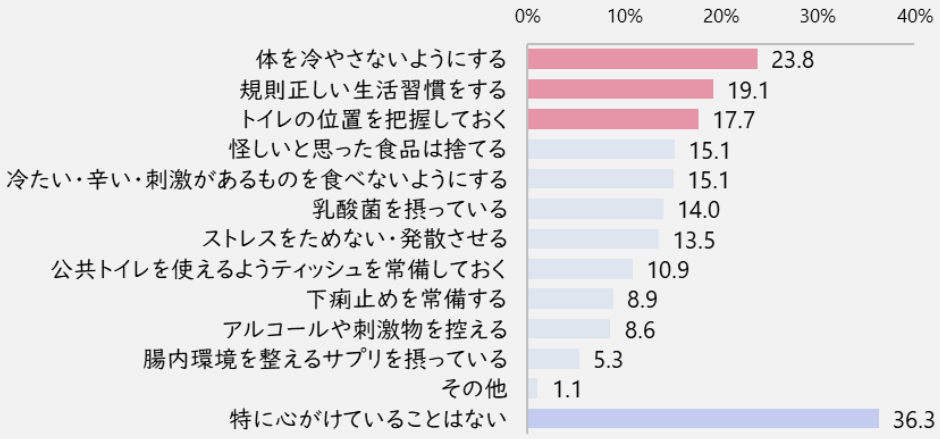
b. 1都3県抜粋

全体		18.5	
1都3県	埼玉県	42.0	平均
	千葉県	28.0	
	東京都	44.0	36.5
	神奈川県	32.0	

3. 下痢の対処のため普段から心がけていることは、1 位「体を冷やさないようにする」、2 位「規則正しい生活習慣をする」、3 位「トイレの位置を把握しておく」。1 位を地域別にみると、中部・近畿地方が最も多かった。

下痢の対処のために普段から心がけていることについて質問したところ(図6)、「特に心掛けていることはない」と回答した人は 36.6%でした。つまり、その他 6 割以上は“普段から心がけている”ということがわかりました。実際に心がけている内容としては、1 位「体を冷やさないようにする(23.8%)」、2 位「規則正しい生活習慣をする(19.1%)」、3 位「トイレの位置を把握しておく(17.7%)」という結果となりました。他、一風変わった回答としては、「素数を数える」「片栗粉を水に溶いて飲む」という独自の方法を取る人もいました。日ごろからお腹のトラブルに悩む人は約 6 割、突然の便意で困ったことがある人は 7 割以上いるにも関わらず、対処方法として、即効性のある対策はあまり取られていないことがわかりました。

図6　下痢の対処のため、普段から心がけていることはありますか。N=2350



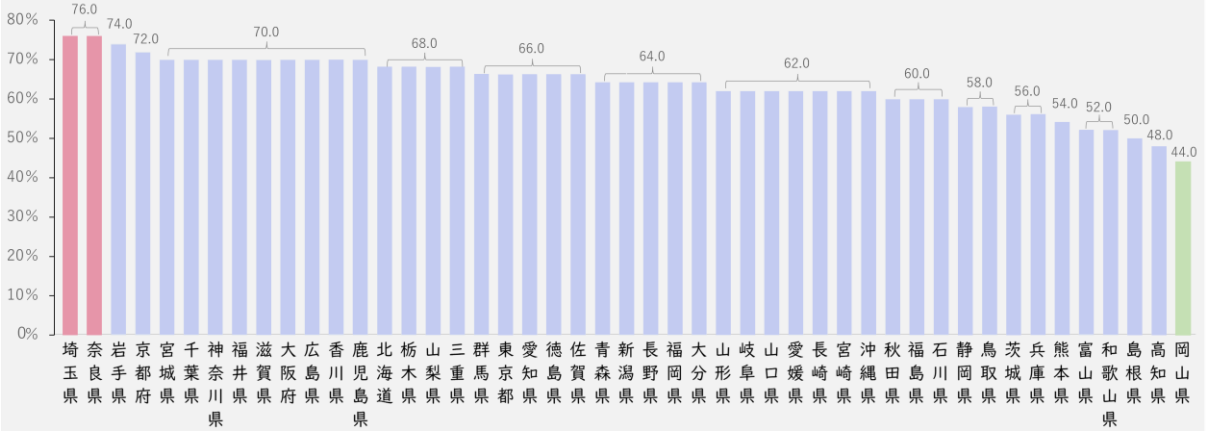
都道府県別にみると(図7)、普段から心がけていることが“ある”人が一番多かったのが同率(76.0%)で「埼玉県」・「奈良県」、一番少なかったのが「岡山県(44.0%)」と、一位と最下位で 30%以上の差がありました。突然の便意で困った経験の割合に差があるのと同様に、普段から心がける意識も、都道府県によって大きな差があることが明らかになりました。

大幸薬品株式会社
〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル16階
http://www.seirogan.co.jp

大幸薬品

News Release

図7 下痢の対処のため、普段から心がけていることはありますか。(はい、と回答した割合)



また、普段から心がけていること 1 位の「体を冷やさないようにする」を都道府県別にみると(図8)、上位は中部・近畿地方に多く見られることが分かりました。反対に、北日本に位置する「北海道」や「青森県」・「秋田県」は、平均程度かそれ以下となり、「体を冷やさないようにする」意識は他県に比べそれほど高くないことが分かりました。この地域の人にとって「寒さ」は日常生活の一部であり、「体を冷やさないようにする」ことは、あえて心がけることでもないのかもしれません。このように、生活スタイルや住環境の違いによって、意識が異なることも推察できます。

さらに、普段から心がけていることの中で、「トイレの位置を把握しておく」と回答した人の都道府県別トップ 10 を見ると(図9-a)、1 位「香川県」、4 位「三重県」、5 位「長野県」など、通勤・通学時に公共交通機関を利用するであろう、都市部以外の地域も上位を占める結果となりました。一方、「東京都」・「神奈川県」・「千葉県」・「埼玉県」の 1 都 3 県も、すべてランクインしています。地域別だと(図9-b)、全体平均の 17.7%に対し、1 都 3 県は 26.0%と、10%近く上回る結果となりました。

加えて、「下痢に対するあなたならではの対処法」について聞いたところ、「出かける前に三回くらいは必ずトイレに行く」や「家を出る前に出し切る」など外出前に対処する人や、「下痢になりそうな時は極力外出を避ける」と外出すること自体を断念する人、また「大丈夫と思いこませる」というように自分自身に信じ込ませる人など、人それぞれ、様々な対処をしているようです。

図8 心がけていること
「体を冷やさないようにする」

全体	23.8	新潟県	16.0	鳥取県	18.0
北海道	20.0	富山県	20.0	島根県	10.0
青森県	24.0	石川県	34.0	岡山県	28.0
岩手県	28.0	福井県	30.0	広島県	36.0
宮城県	28.0	山梨県	32.0	山口県	22.0
秋田県	14.0	長野県	30.0	徳島県	14.0
山形県	24.0	岐阜県	32.0	香川県	28.0
福島県	38.0	静岡県	32.0	愛媛県	30.0
茨城県	20.0	愛知県	16.0	高知県	16.0
栃木県	16.0	三重県	34.0	福岡県	16.0
群馬県	24.0	滋賀県	30.0	佐賀県	24.0
埼玉県	28.0	京都府	22.0	長崎県	26.0
千葉県	18.0	大阪府	28.0	熊本県	22.0
東京都	24.0	兵庫県	22.0	大分県	12.0
神奈川県	14.0	奈良県	30.0	宮崎県	28.0
		和歌山県	22.0	鹿児島県	20.0
				沖縄県	18.0

図9 心がけていること
「トイレの位置を把握しておく」

a. 全国ランキング

1位	香川県	32.0	8位	埼玉県	22.0
2位	東京都	30.0	8位	山梨県	22.0
3位	神奈川県	28.0	8位	広島県	22.0
4位	三重県	26.0	8位	愛媛県	22.0
5位	千葉県	24.0	8位	宮崎県	22.0
5位	長野県	24.0			
5位	大阪府	24.0			

b. 1都3県抜粋

全体		17.7	
1都3県	埼玉県	22.0	平均 26.0
	千葉県	24.0	
	東京都	30.0	
	神奈川県	28.0	

大幸薬品株式会社
〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル16階
http://www.seirogan.co.jp

大幸薬品

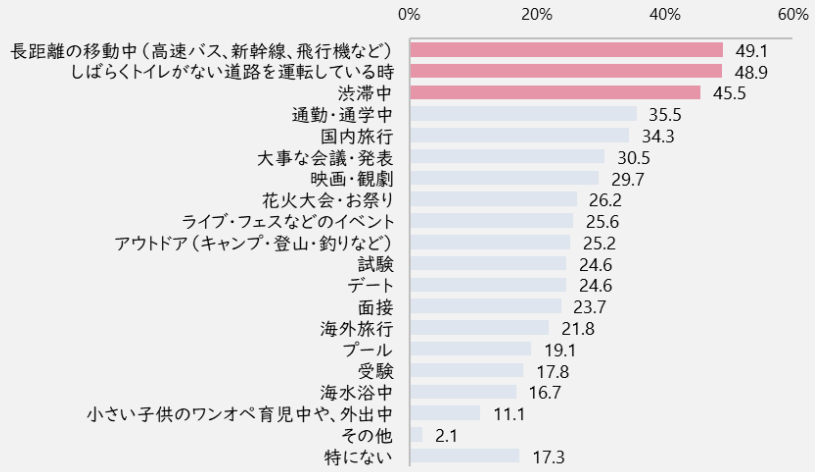
News Release

～下痢に対するあなたならではの対処法はありますか。(自由回答)～ ※一部紹介
・「出かける前に三回くらいは必ず行く」(滋賀県、63 歳男性)
・「朝、家を出る前に出しきる」(富山県、29 歳女性)
・「下痢になりそうな時は極力外出を避ける。お腹を冷やさない、毎日の食生活に気をつける。」(三重県、57 歳女性)
・「お腹のマッサージを普段から実施している」(新潟県、25 歳男性)

4. 下痢に最もなりたくない場面は 1 位「長距離の移動中」

下痢になりたくない場面について質問したところ(図10)、1 位「長距離の移動中(高速バス、新幹線、飛行機など)(49.1%)」、2 位「しばらくトイレがない道路を運転している時(48.9%)」、3 位「渋滞中(45.4%)」と、突然の便意で困ったとき同様、“移動時”が多い結果となりました。

図10 下痢になりたくない場面を教えてください。N=2350



1 位の「長距離の移動中」を都道府県別にみると(図11-a)、1 位「神奈川県(66.0%)」、2 位「岩手県(64.0%)」、3 位「福井県(62.0%)でした。また、地域別では(図11-b)、突然の便意で困ったときに続き、1 都 3 県が高い傾向となり、平均 57.5%と、全国平均 49.1%を上回りました。

図11 下痢になりたくない場面「長距離の移動中」

a. 全国ランキング

1位	神奈川県	66.0
2位	岩手県	64.0
3位	福井県	62.0
4位	静岡県	60.0
5位	福島県	58.0
5位	埼玉県	58.0
5位	東京都	58.0
5位	長崎県	58.0
5位	沖縄県	58.0
10位	宮崎県	56.0

b. 1都3県抜粋

全体		49.1	
1都3県	埼玉県	58.0	57.5
	千葉県	48.0	
	東京都	58.0	
	神奈川県	66.0	

5. 普段から「下痢止め」を持ち歩いている人は約 2 割。「下痢止め」に期待することは即効性、低価格、飲みやすさ、持ち運びやすさ。

お腹のトラブルに対して症状を抑える効果のある「下痢止め」(市販薬)の所持について質問したところ(図12)、普段から持ち歩いている人は全体の約 2 割でした。都道府県別にみると(図13-a)、1 位は「栃木県(34.0%)」で、最も多い県でも 3 割程度にとどまる結果となりました。また、最も少ないのは、10.0%で、「高知県」・「茨城県」でした。

地域別では(図13-b)、1 都 3 県の所持率が平均 26.5%と高く、全国平均 22.3%を上回りました。

大幸薬品株式会社
〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル16階
http://www.seirogan.co.jp

大幸薬品

つまり、大半の人は市販薬を持ち歩いていないということがわかった一方で、1 都 3 県の所持率は比較的高いことが分かりました。

図12　下痢、軟便などのお腹トラブルの市販薬を持ち歩いている。N=2350

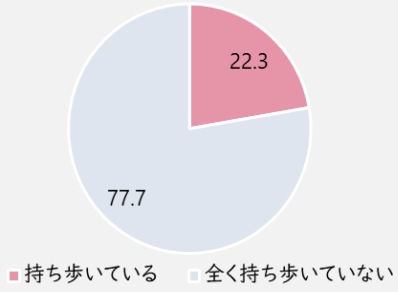


図13　下痢、軟便などのお腹トラブルの市販薬を持ち歩いている

a. 全国ランキング

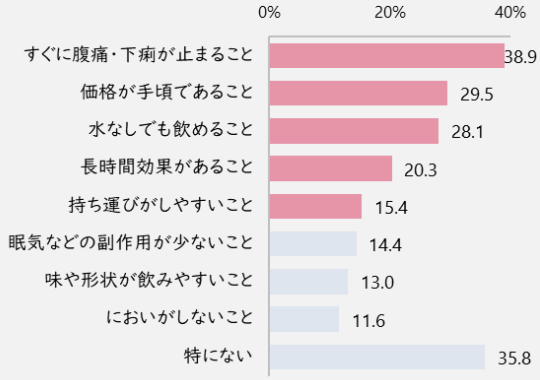
1位	栃木県	34.0	38位	山梨県	18.0
2位	長野県	32.0	38位	沖縄県	18.0
2位	静岡県	32.0	41位	山形県	16.0
2位	山口県	32.0	41位	大阪府	16.0
5位	北海道	28.0	41位	岡山県	16.0
5位	福島県	28.0	43位	岩手県	14.0
5位	群馬県	28.0	43位	和歌山県	14.0
5位	埼玉県	28.0	45位	岐阜県	12.0
5位	千葉県	28.0	45位	香川県	12.0
5位	福井県	28.0	47位	高知県	10.0
5位	長崎県	28.0	47位	茨城県	10.0

b. 1都3県抜粋

全体		22.3	
1都3県	埼玉県	28.0	平均
	千葉県	28.0	
	東京都	24.0	26.5
	神奈川県	26.0	

また、お腹のトラブルの市販薬に求めることについて質問をしたところ(図14)、1 位「すぐに腹痛・下痢が止まること(38.9%)」、2 位「価格が手頃であること(29.5%)」、3 位「水なしでも飲めること(28.1%)」という結果になりました。その他、4 位に「長時間効果があること(20.3%)」、5 位に「持ち運びがしやすいこと(15.4%)」がランクインしており、症状に対して早く・長く効果があること、気軽に買える、手軽に飲める、持ち運びしやすい、ということが求められていることがわかりました。

図14　下痢、軟便などのお腹トラブルの市販薬に求めることは何がありますか。N=2350



【まとめ】

突然の便意で困ったことがある人は 7 割以上いたにも関わらず、「下痢止め」を持ち歩く人は 2 割程度。「下痢止め」に求められることは主に、「即効性」、「低価格」、「飲みやすさ」、「持ち運びやすさ」であることがわかった。

日ごろから、「下痢・軟便等に悩む人」は 57.4%、「突然の便意で困ったことのある人」は 72.2%と、多くの人がお腹のトラブルで困った経験があることが分かりました。困った場面としては、外出した際の“移動中”が多く、特に 1 都 3 県では利用機会が多いであろう「交通機関に乗車中」に多い傾向がみられました。そのためか、1 都 3 県では対策として「トイレの位置を把握しておく」人も多く、「下痢止め」(市販薬)を持ち歩く人の割合も全国平均よりは高い結果となりました。一方、下痢の症状を抑えるという意味で即効性のある「下痢止め」を普段から持ち歩いている人は、全国平均で 22.3%、多い県でも 30%台でした。「突然の便意に困ったことのある人」が 7 割以上いた結果に対して、「下痢止め」の所持率はとても少ないことが分かりました。

普段から体調を整えることも大切ですが、外出先や特に大事な場面での急なお腹のトラブルに備えて、症状を抑える「下痢止め」を持ち歩くことも、有効な対策のひとつと考えられます。さらに、多くの人が「下痢止め」に求めていることは、主に「即効性」、「低価格」、「飲みやすさ」、「持ち運びやすさ」であることも今回の調査からわかりました。

もしもの時に、慌ててトイレを探すこともなく素早く対処できるように、「下痢、軟便などのお腹トラブルの市販薬」を常に携帯してみてはいかがでしょうか。

大幸薬品株式会社
〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル16階
http://www.seirogan.co.jp

大幸薬品

News Release

『正露丸クイック C』についての製品情報

大幸薬品の『正露丸クイック C』は、飲みやすく※1すばやく※2 溶ける液体カプセルなので、持ち運びに便利です。主成分の木(もく)クレオソートは自然由来の生薬のため、5 歳のお子様から飲むことができます。木(もく)クレオソートが腸内の水分バランスを調整し、腸の運動を止めることなく正常化するので便秘になりにくいことも特長です。眠くなる成分を含んでいないので、車などの運転操作の前にも服用することができます。また、世界レベルの「アンチ・ドーピング認証」も取得しており、トップアスリートも服用できる品質となっています。通勤・通学時や外出先でおこる急なお腹のトラブルに効果を発揮します。

製品名	正露丸クイック C
区分	第 2 類医薬品
効能	下痢、消化不良による下痢、食あたり、水あたり、はき下し、くだり腹、軟便

※1 当社『正露丸』と比較
※2 当社『正露丸』『セイロガン糖衣 A』と比較

▼「正露丸クイック C」 特設サイト
https://www.seirogan.co.jp/seirogan/quickc/

▼「ラッパのマークの正露丸」 ブランドサイト
https://www.seirogan.co.jp/seirogan/

【調査概要】
1. 調査の方法:WEB アンケート形式で実施
2. 調査の対象:全国の 16～69 歳の男女
3. 有効回答数:2350 名:各都道府県均等割付
4. 調査実施日:2024 年 8 月 6 日(火)～8 月 8 日(木)

■引用・転載時のクレジット表記のお願い

本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
＜例＞「大幸薬品株式会社が実施した調査によると・・・」

＜大幸薬品株式会社について＞

大幸薬品は、【「自立」、「共生」、「創造」を基本理念とし、世界のお客様に健康という大きな幸せを提供します】の企業理念のもと、『正露丸』『セイロガン糖衣A』を主力製品とする医薬品事業と、低濃度二酸化塩素ガスの効果を用いた『クレベリン』を主力製品とする感染管理事業を活動の柱としております。近年、セルフメディケーションの重要性が高まる中、当社では家庭薬と感染管理による衛生対策で、お客様の健康への寄与を通じて、社会に貢献できればと考えております。

大幸薬品株式会社
〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル16階
http://www.seirogan.co.jp

大幸薬品

News Release

＜報道関係の皆様からのお問い合わせ先＞
大幸薬品株式会社　マーケティング部　PR 担当
E-Mail：press@seirogan.co.jp

＜一般のお客様からのお問い合わせ先＞
大幸薬品株式会社　お客様相談係
TEL：06-6382-1095　受付時間：午前 9 時～午後 5 時（土、日、祝日を除く）